

平成29年度 第9回嘉麻市公民館運営審議会

1. 開催日時 平成30年 3月27日(火) 16:30～17:50
2. 開催場所 嘉麻市嘉穂生涯学習センター 大研修室
3. 公開又は非公開の別 公開
4. 傍聴人数 0人

5. 出席者

【審議会委員】

	岡 幸江	○	大田 守	○	大山 征男	○	木下 侑則		川原田寿史
○	大木 秀一	○	櫛 ひろ子	○	手島 静恵	○	森田 信代	○	赤間 秀人

【オブザーバー】

	筑豊教育事務所	上野 修司
--	---------	-------

【事務局（教育委員会）】

	教育長	木本 寛昭	○	生涯学習課長	長岡 和広
○	生涯学習課長補佐	田原 薫	○	中央公民館係長	山本 賢治
○	中央公民館係	末永 美津子	○	中央公民館係	春口 やよい
○	嘉穂地区公民館長	田中 隆	○	山田地区公民館長	松岡 一彦
○	碓井地区公民館長	福田 勇	○	稲築地区公民館長	宇佐波 吉徳

6. 議題

(1) 平成29年度事業総括について

○平成29年度事業総括表・・・資料を基に説明

- ・ 1. 嘉麻市公民館基本計画の策定・・・自己評価 A
 - <成果> 将来に向けた嘉麻市の公民館のあり方について検討を行い、各地域における公民館活動の活性化を図るための組織の再構築を図るための具体的な方向性を示すことが出来た。
 - <課題> 公民館基本計画の策定に伴い、嘉麻市の公民館が抱える課題に対し、方向性を示すことができたが、計画の推進には住民の理解、協力なしには進めることができないため、今後も地元住民への十分な説明、協議が必要である。
- ・ 2. 嘉麻市社会教育施設整備事業・・・自己評価 B
 - <成果> 適切な施設の維持管理に努め、地域住民が安心して活動できる場の提供を行う事で、公民館の利用促進、活動の活性化を図る事ができた。
 - <課題> 多くの公民館施設が老朽化しており、今後の全ての公民館を設備、維持管理していく事は困難であり、施設の見直しや施設の整備を計画的に実施する必要がある。
- ・ 3. 嘉麻市公民館運営審議会・・・自己評価 A
 - <成果> 公民館基本方針並びに基本計画策定について、公民館運営審議会に諮問し、審議を行ったことで、より地域住民の意向に沿った計画を策定することができた。先進地視察を行うことで、先進地で行われ

ている公民館活動の情報を得ることができた。

＜課題＞特になしと記載しているが、先進地視察が好評であった事もあり来年度も予定している。

・ 4. 嘉麻市公民館分館・自治公民館館長会議・・・自己評価 B

→＜成果＞嘉麻市公民館職員等研修会では、大橋分館・大隈分館における公民館活動の実践発表を行い、嘉麻市内の分館活動を知り、学ぶことができた。各分館長、自治公民館長が研修会に参加することで公民館活動についての研鑽を深めることができた。分館長、自治公民館長会議では、公民館基本計画策定についての意見徴収を行うことができた。

＜課題＞嘉麻市公民館職員等研修会の開催時期を見直し、早い時期に行う。公民館基本計画の推進のため、今後も分館長、自治公民館等会議への十分な説明、協議が必要である。

・ 5. 公民館等補助金交付事業・・・自己評価 B

→＜成果＞分館運営補助金、自治公民館活動補助金を交付することにより、地域コミュニティの拠点である公民館の活性化を図ることができた。公民館類似施設等補助金を交付することにより、自治公民館の適切な維持管理を図ることができた。

＜課題＞運営費・活動費の算定基準の見直しについて、今後協議していく必要がある。地元所有の自治公民館においては、全てを地元管理で行っているため、維持管理することが困難になっている地域がある。

・ 6. 地区公民館、分館（自治公民館）支援事業・・・自己評価 B

→＜成果＞地域活動指導員との協働により、分館活動の企画、運営を行うことができた。今年度より、ときめき学習を山田・稲築・碓井・嘉穂の4地区で開催することができた。

＜課題＞公民館活動を分館で主体的に実施するため、分館には非常勤特別職として分館長、主事等を委嘱する必要があるが、現在は委嘱していない。ときめき学習を山田・稲築・碓井・嘉穂の4地区で実施することはできたが、全小学校区を対象とするまでは至っていない。

・ 7. 地区公民館青少年育成事業・・・自己評価 B

→＜成果＞地域住民及びボランティアとの協働による事業の企画・運営を行うことができた。地域住民との協働で実施することにより、地域住民との交流を図ることができた。

＜課題＞地域住民との協働で実施している事業については、嘉麻市内全地区で活性化することが出来るよう活動の支援を行う必要がある。

・ 8. 嘉麻市成人式・・・自己評価 B

→＜成果＞新成人で構成する実行委員会で第2部のアトラクションを企画・運営することにより、新成人としての主体性を養うことができた。

＜課題＞新成人で構成する実行委員会で企画・運営しており、毎年委員全員が代わるため、事業内容の引継ぎがうまくできていない。18歳の成人をとという国の方向が決定した場合の対応が必要である。(会場、運営等の問題)

・ 9. 地区公民館分館・自治公民館活動の支援・・・自己評価 B

→＜成果＞地域活動指導員等の支援により、公民館活動の企画・運営を行う事

により、公民館の活性化を図ることができた。

＜課題＞後継者不足や事業への参加者の減少から、公民館活動を実施することが困難な地域がある。

・ 10. サークル活動推進事業・・・自己評価 B

→＜成果＞サークル活動の相談等の支援を行うことで、新たな公民館利用者の増加に繋がった。

＜課題＞公民館を利用することが少ない年代を取り込むため、新たな公民館講座を実施し、自主運営によるサークルに移行することで、新たな公民館利用者の促進を図る必要がある。

・ 11. 嘉麻市公民館講座事業・・・自己評価 B

→＜成果＞実行委員会や地域住民との協働により事業を実施することができた。年度当初の予定より公民館事業を増やし、公民館の活性化を図ることができた。「公民館だより」を発行することで、地域住民への公民館活動の周知を行うことができた。

＜課題＞中央公民館としての全市的な事業は、市内全域の住民が参加しやすい環境を整える必要がある。地区によっては、公民館の活動が縮小しており、サークル等の活動や社会教育関係団体等の支援活動が中心となっており、新たな公民館事業の開催ができていない。

○平成29年度事業報告・・・資料を基に説明

・参加人数が掲載できなかった事業を報告

・山田地区公民館

→人権・同和問題研修会・・・29名

・稲築地区公民館

→人権・同和問題研修会・・・16名

・碓井地区公民館

→地域交流スポーツ大会・・・27名

人権・同和問題研修会・・・13名

・嘉穂地区公民館

→ふるさと探検隊（まとめ）・・・23名

〃（修了式・サケの放流）・・・28名

人権・同和問題研修会・・・9名

集まれ！かほっ子・・・50名（予定）

【意見及び質疑応答】

・自己評価にBが多いのはなぜなのか。多くの成果を上げているのになぜなのかと思った。合併時の地区のバラつきがあるからなのか。

→地区ごとのバラつきもあるが、今年度は公民館基本計画で方向性を示し、これから進めて行くため、Bで評価している。

・分館でもバラつきがあるからなのか。

→分館でも活発に事業を行っている所もあるが、バラつきがある。

・2.社会教育施設整備事業の課題で、「多くの公民館施設が老朽化しており・・・維持管理をしていくのは困難」とあり、今後分館を造ると思うが、今公民館の床が浮いたりして、修繕してもすぐに分館になるのであれば無駄になるかもしれない。いつ

までに分館制度になるのかを知りたい。

→碓井、稲築の分館方式への移行は、これから進めていくが、来年度はそれぞれ地元の自治公民館長に説明に伺い、今後スケジュール等を進めていく予定。

(2) 平成30年度事業計画（案）について

○平成30年度嘉麻市教育委員会 生涯学習課事業計画表（案）・・・資料を基に説明

- ・第5回で配布した資料（平成30年度嘉麻市教育委員会 生涯学習課事業計画表（案））に記載していた、稲築地区公民館施設整備事業を今回配布した資料から外している。

→＜理由＞現在、稲築地区公民館に図書館を併設しており、図書館を設置するための協議がまだ纏っていない状況である。再検討を来年度実施する予定になっており、協議が終了したのち、平成31年度に整備事業に着手したいと考えている。

- ・事業項目を見直し、平成29年度分に記載していた「嘉麻市公民館運営審議会」、「嘉麻市公民館分館・自治公民館館長会議」の事業項目については、平成30年度以降も行うが事業項目としては挙げずに諮問機関として、また、意見交換・情報共有の場として今後も実施していくこととしている。
- ・「5.公民館等補助金交付事業」、「6.地区公民館、分館（自治公民館）支援事業」、「9.地区公民館分館・自治公民館活動の支援」の3事業について、平成30年度では「1.分館・自治公民館活動支援事業」として1つの事業にまとめている。
- ・「7.地区公民館青少年育成事業」、「10.サークル活動推進事業」について、平成30年度では、「6.地区公民館事業」の中に組み込み事業計画を立てている。
- ・「11.嘉麻市公民館講座事業」は、平成30年度では「5.中央公民館事業」「6.地区公民館事業」に分けて掲載している。
- ・平成29年度の事業項目が似ている内容が多かったため、1本化している。

・1.分館・自治公民館活動支援事業

→＜内容＞地区公民館による分館が企画・立案・運営する事業への支援。その他、公民館類似施設等補助金、各種補助金についての地元協議。

＜対策＞公民館基本計画に基づき、対象区域の見直し、公民館の在り方や役割を明確にすることにより、分館で実施する事業の見直しを図り、公民館活動を活性化する。

・2.分館・自治公民館施設見直し事業

→＜内容＞分館施設の設置や見直しを行い、施設の新設や建替、移設等の検討、地元協議を行う。自治公民館施設の見直しを行い、地元協議を行う。

＜対策＞現状の把握（データ分析）。分館施設見直しに伴う地元協議、地元説明。自治公民館施設の見直しに伴う、地元協議、地元説明。

・3.公民館施設管理運営事業

→＜内容＞公立公民館施設の施設の維持管理、改修・補修、施設備品の管理・補修。

＜対策＞公立公民館施設の計画的な施設の改修・補修と適切な施設の維持管理に努める。

・4.成人式

→＜内容＞実行委員会形式による企画・運営。第1部 式典、第2部 アトラクションの実施。

＜対策＞実行委員会の構成委員の見直し又は前年度の実行委員会からの引継ぎ等を検討する。

・5.中央公民館事業

→＜内容＞（省略）市民に学習の場を提供し、社会参加を支援する事業の実施（サルビア大学、日本語学級を予定）。

地域住民が集い、懇親、交流、情報交換し、地域住民や関係団体が活性化することを目的とする事業の実施（公民館まつりを予定）。

地域団体の活性化と生きがいづくり、仲間づくりを目的とした事業の実施（陶芸教室、DIY講座を予定）

＜対策＞公民館基本計画に基づき、中央公民館としての在り方を見直し、公民館全体の取りまとめや指導助言といった機能と全市的な事業を開催をするための新たな組織づくりを検討する。

・6.地区公民館事業

→＜内容＞（省略）地域住民が集い、懇親、交流、情報交換し、地域住民や関係団体が活性化することを目的とする事業の実施（青空フェスタを予定）。

伝統文化の継承と世代間交流を通して地域コミュニティの活性化を推進する事業の実施（ふるさと探検隊、盆踊り講習会を予定）。

地域団体の活性化と生きがいづくり、仲間づくりを目的とした事業の実施（フランス刺繍、アロマワックバー作り、陶芸教室、大人と子どもの体験教室等を予定）。

地域住民とともに企画・運営し、地域コミュニティの活性化及び世代間交流を目的とした事業の実施（ときめき学習、いきいき体験ふれあい学習、4分館対抗グランドゴルフ等を予定）。

＜対策＞公民館基本計画に基づき、より地域の実情に合わせた主体的な活動を促進する地区公民館の体制づくりをおこなう。地域住民のニーズをくみ取りつつ、住民が相互学習により地域の主体として活動することが可能となるような地域住民参加型の事業を推進する。様々なライフステージにおける多様なテーマから地域課題に即した、地域人材を活用できる事業・講座の企画・運営を通じ地域の核として活動する人材育成に寄与する。

【意見及び質疑応答】

・「6 地区公民館事業」の具体的な内容の「地域団体の活性化と～事業の実施」とあったが、これの内容を教えて欲しい。

→フランス刺繍、アロマワックスバーづくり。アロマワックスバーは3回講座で実施したいと考えている。将棋教室、大人と子どもの体験学習。大人と子どもの体験学習では、陶芸教室、味噌づくり等予定している。趣味的な事から、繋げていければと考えている。

・稲築地区公民館の図書館について、嘉麻市の人口に対して、図書館は3つ、稲築は図書室が1つと捉えており、図書館については、公民館を建てる時には人口に対して多すぎると感じるの、図書館の併設を考えてないと聞いた。今の所、公民館建設時に図書館を併設することを考えているのか。

→今、その点について市長部局と協議を行っている。実際に行革の対象に図書館は入ってないが、行革の特別委員会で類似団体等と比較して、嘉麻市の図書館

が4館は多いという意見も出ている。将来的に人口が減ると考慮した際、図書館自体をどうするのかを今後考えなければいけないという意見が出ている。

また、稲築地区公民館を建てる際、一番人口が多い稲築に図書館が無くなることに対し議論が出ると思われる。将来的に嘉麻市の図書館をどうするのかという部分をまずは考えないといけない。生涯学習課としては学習の拠点、図書ボランティアさんの活動拠点となっているため、それぞれの地域に何らかの形で図書の機能を残したいという考え方を持っている。

ただし、その形については、例えば山田や嘉穂、碓井にあるような立派な図書館を建てることは難しいと思われる。図書館をそれぞれの地域に拠点として残すのか、あるいは、どこの図書館を残すのか、公民館の中に図書館を併設するのか、もしくは他の方法とするのか決まっていない。図書館を併設しないのであれば公民館だけを建設する方向を示すだけでいいが、別に公民館の一室を図書室として使うという事になれば、その事を考慮して計画を立てなければいけない。

公民館の計画を来年度から進めていこうと思っていたが、先に図書館を整理しておかなければ、計画がずれ込む可能性がある。まずは図書館の計画を立ててから、その後に公民館建設の計画に入った方が早く進むのではないかと考えている。その方向で市長部局と話をしている所である。

- ・稲築公民館の建設については、いつ話が変わったのか。せっかく話が進んでいたのに残念だと思う。図書館についての話はいつからあったのか。
 - 図書館については、以前から行革の関係で4館は多いのではないかという話が出ていた。その中では、減らすという方向性や図書館を何館にするとの話は出ていないのが現状である。今回、公民館の計画がある程度進み、稲築地区公民館の老朽化の話で建替えをするという事が出てきたため、予算確保の話が実体化してきた。その中で図書館の関係が決まっていない中で話を進めても、予算確保、建築はいつするのか、年度も併せてどうするのかとはっきり決まらないのではないかという話になってきた。そのため、まずは図書館の話を整理していく方向性になると市長部局と話をした。予算組みを行う11月から12月以後に、具体的な話が出てきたのが現状である。
- ・びっくりした。楽しみにしていたので、また1年伸びるのかと心配していた。
- ・「2.分館・自治公民館施設見直し事業」の課題解決に向けての対策に「現状の把握データ分析」があるが、どのようにして行われるのか。やっとな最近4地区の状況がやっとなわかった所もあり、稲築と碓井がどのようになるのかとても不安だと思う。それを踏まえて山田や嘉穂がしている形で実際に地区がどのくらい負担しているのか、どういう活動をしているのかなどについては、昨年アンケートでは、公立公民館しかとっていないので、その他の部分が分からない状況だと思う。公民館やコミュニティの活動実態、予算、区費等の具体的内訳が分かれば、碓井や稲築も分館だけではなく、地域の公民館をそのまま残して運営出来ることが分かるのではないかと思う。それがないと進まないのではないかと思う。現状の把握は分かりやすく、どのような予算で運営をしているのか分かれば話が先に進むのではないかと思った。
 - 現状把握については、計画をする際に公民館の実態調査を行っている。データを全体的にまとめており、それぞれの施設の収入や区費、活動実態をデータ把握している。計画は本年度策定して、各地区の公民館長に話をして進めていきたい。
- ・「5.中央公民館事業」の中の、具体的な事業内容で中央公民館が担っている人材育成はすごく大事だと思う。講座の開講をお願いしていたが、話の中に出てこなかった。

リーダー養成に関わるような講座を中央公民館にさせていただきたいと思っている。例えばまちづくり講座や歴史探訪など文化財などと協働した事業を中央公民館として実施して欲しい。中央公民館で、リーダー養成などに視点をのこした企画が出来たらと思う。楽しい講座もいいが、そういった講座があれば良いと思う。

→サルビア大学（実行委員会形式）では、ふるさとの事を知る事業は文化財係に講師をお願いしている。人材育成については、嘉麻市の公民館職員等研修会を毎年開催しており、来年度は、公民館運営審議会で好評だったこともあり、視察研修も予定している。

- ・ 講座として連続して何回か行う中で意識が高まっていくと思う。講座の狙いはそこだと思っているので、年間何回か行い、その中で地域の実態を知ることができる。役所の職員が講師となって、費用を掛けず継続して実施出来れば良いと思う。

→文化財係とも話をしているが、まだ具体的な話にはなっていない。沖出古墳の公開時にボランティアさんが出てきてくれている。そのボランティアさんも高齢になってきており、次の新たなボランティアが決まっていない。逆に文化財係からも新たな講座で新しいボランティアさんを引き込めるなら、文化財係も助かると話が出ていた。他の課も同じ状況で公民館講座と一緒に出来るなら、自分たちも協力するという可能性も出てきている。人権・同和教育係が出前講座を行っているが参加者が少ないこともあり、今年3月に公民館とコラボして実施した。人を集める所を公民館が行い、ある程度人数も集まった。お互い協力することで両方にメリットがある。これを広めて行きながら、人材育成を併せて出来ればと思う。具体的にはなっていないが、そのように進められればと考えている。

- ・ 5. 中央公民館事業の課題解決に向けての対策で、「中央公民館の在り方を見直し～新たな組織作りを検討する」部分の素案があれば、教えていただきたい。

→公民館基本計画の中で示させていただいていたが、中央公民館の施設を廃止してそれぞれの地区公民館が主体となる形にしたいと思っている。中央公民館係が指導、助言を行う組織づくりを行って行ければと考えている。

- ・ 6. 地区公民館事業の課題解決に向けての対策で「公民館基本計画に基づき、～地区公民館の体制づくりを行う」とあるが、簡単に単年度では出来ないと思う。凡その目標年次を教えてください。

→具体的な所まで出来ていないが、住民説明会でも出ていたので、ある程度の期限を定めて説明していかなければいけないと思っている。目標として、この年度までに必要ない施設については市で取り壊すという部分を示していかなければいけないと思う。いつまで経っても計画だけで話が進まないという危険性があるため、まずは、地元説明に入りどういう形で進むのが良いのか、地元の方の意見を聞きながら目標を設定する。行政の側から強引に進めていくと地域コミュニティが壊れる恐れがあるため、そのような事が無いように進めていきたいと考えている。

5年、10年というスパンで進む方向性についてはお示ししないといけないと思っている。予算も絡むことになるため、市長部局と交渉しながら行う。

施設を建て直すにしても、1年間に3館・4館を建て直すのは不可能である。1年に1館になると考えると、全てが整うのは10年先になってしまうのではないかと考えている。その前に体制を整える期間を含めて全体のプランを地域の方に説明していかないといけないと思っている。

- ・ 施設の建設費の調整等があるので、なかなか難しく大変な調整作業があると思うが、ある程度の目処を立てず、「やります」だけでは進まないと思ったので質問した。

- ・不安感が大きい。近くの公民館であれば高齢者が行けるが、分館になると距離があるので、遠くていけなくなる。
 - 交通の件は、地域活性推進課が今交通体系の整備も行っている。それだけでは十分ではないことは理解している。嘉麻市は高齢者も多く、また交通の便が悪い。そのため車が無いと厳しい状況ではあるが、それぞれの地域に、これまでと同じように建物を維持管理することは、財政状況も厳しくなっているので難しい。交通体系を含め皆が利用しやすい施設を設置していく上で、地域の方と話をさせていただく。施設を設置する場所については、地域の方に話をしていけないと思っていない。
- ・今使っている自治公民館は、地域がそのまま地元の公民館として使いたいという事になれば、地域で管理するということになるのか。
- ・維持費の問題がある。
- ・今維持をしている所は、今の維持費を出したらどうなのか。
 - 市が所有している施設で、そのまま地元で使いたいという話になれば、名義を行政区に変えてもらい、行政区の建物とすることを検討している。ただ建替え等に要する経費は今までのように全額市が負担することは出来なくなるため、後は地元の方で捻出させていただくことが条件となってくる。
- ・財政的に、お金のある所はいいが、お金のない所は今使えていても、何年かしたら使えなくなるので、今後困るのではないか。周囲の地域住民に10年先には分館になる旨を話したら、分館になっても、古くなってもここで公民館事業をして欲しいと言われる。
- ・私の地元の地区では、建設資金の貯蓄をしているが、積み立て金で建替えをしたり、また、宝くじ等から半分出してもらうなど、今後の事を考えていかなければいけない。
 - 市の方では、公民館の補助金はあるが各行政区2館までという上限や、上限が対象の2分の1という事になるので、原則残りの2分の1は地元負担となる。それでも、地元で残すという事になれば地元管理、もしくは地元で管理が困難であれば取壊し、分館の拠点施設を使用させていただくように進めたい。今後、地域での説明を進めていこうと思っている。
- ・近頃、稲築の新庁舎の建設に向けて入札が終わったという事だが、新庁舎に公民館を併設するのは難しいのか。新庁舎の一部を使用することで、建設費が下がると思うが。
 - 新庁舎に関しては、全て設計等が出来上がっており、その中に今から新しく造ってもらうという事が難しく、また敷地内に建てる事さえも無理と言われた。耐震、排水、配線全てのことを考えて設計されており、そこに別の建物を建てるとなれば、計画を一からやり直さないといけないので、併設は難しい。
 - また、今後の協議になると思われるが、今学校が小中一体型校舎の方向で進んでいこうという動きがある。現在、颯田の小中学校で公民館と一体型になったコミュニティ施設が出来ている。もしかすると、颯田のように小中学校と公民館の一体型の話が出てくるのかもしれないが、新庁舎に関しては、現状として難しい。
- ・建物ばかりが増えても、人が減ってるのもったいない。
- ・今の稲築庁舎を取壊し、売ると聞いたがどうなのか。
 - 今、民間活力を必要としており、地域活性推進課が跡地利活用の基本計画を立てている。それぞれの庁舎の跡地をどうするのかを計画している。できれば、民間の方に土地を活用してもらえればという事で、色々な所をお願いしているようだ。
 - 庁舎の跡地というのは、人が集まりやすい場所であるため、民間企業などが活用

できればと協議をしていることは聞いている。ただ、大手スーパーなどは面積的にも難しいところもあるが、何らかの形で、地域により良く活用できればと検討している。また詳細が分かれば、審議会で報告する。

- ・稲築の場合は、駐車場の問題がある。一般の講座で公民館を利用しようとしても、駐車スペースがなく、保健センターなどの駐車場を借りて何とか駐めることができる状況である。公民館は小さくても、駐車場の事を考えて欲しい。今の駐車場は職員や業者が駐車しており、本来の稲築庁舎に来る人、公民館を利用する人が止められず、不便を感じる。
→新庁舎が建てば、職員駐車場は別になるため、今の駐車場には駐めなくなり公民館利用者が駐めることができると思われる。
- ・稲築公民館建替の計画が消滅してはいけないと思うし、利用者として思うのは、公民館の建替をしていただきたい。稲築庁舎の後に稲築公民館が建つと思っていたが、その方向ではないように感じた。どうなるのかが心配である。
- ・30年度の事業計画（案）の公民館施設の件がすでに話が出るのは、それだけ関心があることだと思う。

(3) その他

○公民館現地調査結果 報告書について・・・資料を基に説明

- ・2ページ「⑤建物・土地の所有状況」【自治公民館の土地所有状況】
→地元所有なしの0表記で、その他に数値がある部分は、その他に個人名義等が含まれている。
- ・3ページ「問3 建物」の詳細については、3～8ページに記載。
→公民館基本計画にも記載。
- ・9ページから「問4 施設の状況」は、防災・非常設備、空調設備等を記載。
- ・16ページ「問5 運営」について記載。
→「③鍵の管理」については、複数回答。
全部の合計（母数）の数値は、調査した施設数になっている。
- ・23ページ「問9 活動等」
→公民館基本計画にも記載。
- ・27ページ「問10 貴施設の課題」については、後継者が見つかりにくいという等の課題点を記載。
- ・33ページ「ご意見・ご要望」について記載。
→施設の整備、利用者の高齢化について、多くの意見があった。
その他の中には、補助金の見直し、自主財源で管理しているので管理費用捻出が難しいと意見があった。
- ・37ページからは実際に現地調査を行うときに使用した調査シートを記載。

【意見及び質疑応答】

- ・10ページの空調設備について、夢サイトは何年か前から何度か壊れており、今回の故障もかなり長い期間修理されておらず、冬はストーブがあるのでいいが、夏になってもこの状態のままなのが心配。
→今年度も文化ホールの大きい修繕があり、費用も高額だった。今回も大研修室、中研修室、調理室が同じ系統で繋がっている部分が故障しており、かなりの費用が掛かると見込まれた。そのため、今年度での修繕は金額的にも難しいので、来年度で

予算を組んでいる。

- 修理費用が高額ならば、購入はどうだろうか。牛隈の公民館のように部屋ごとに機械を設置し、お金を入れて可動するようなことは出来ないのか。
→それぞれの部屋に設置することを検討したが、高額な費用が掛かる。
- 夏が心配なので、家だと窓を開けておけば風通りがよくなるが、夢サイトのような施設だと窓を開けておくことができないので、暑さが心配である。
- 夢サイトの築年数は何年か。
→平成14年に建設されたので、築16年になる。

上記に相違ないことを確認する。

平成30年3月30日

会議録確認者 大田 守